

新しい働き方のモデルとなる フリーアドレスのフレキシブルな空間を実現。

東京都江東区 リソナ銀行様



「Resona Garage」の空間コンセプトを 維持するために必要だったフリーな電源。

りそな銀行様では、次世代のビジネスモデルの開発を加速化するため、2020年に「Resona Garage (りそなガレージ)」を開設されました。新しい働き方のモデルスタイルを実験的に行い、開発・創造していく場所として位置づけられています。新型コロナウイルス感染症の影響などもあり、多様な働き方、オフィスのあり方が求められるようになりつつある今、「Resona Garage」は壁をなくした開放的なフロアとし、固定の場所を決めずに仕事ができるというフレキシブルな働き方を実現しています。

この「Resona Garage」で仕事をするスタッフが増員することになり、機の追加・配置と電源が課題となりました。既設の電源の場所に合わせて、機の配置が決まるとなると、柔軟で自由なスタイルで働ける空間という「Resona Garage」のコンセプトから逸脱することになります。その課題を解決したのがイーブロックです。机、仕事をする場所に持ち運べる電源として、まずはイーブロック本体とスタンドを7台ずつご採用いただきました。





(左から) 株式会社リそなホールディングス 深田正浩様、小島唱考様、川辺秀文様、小山裕也様

会議で一時的にスタッフが集まるときに 足りない電源をイーブロックで補完。

イーブロックのご採用で電源の増設工事をする必要がなくなり、スピーディにコストを抑えて、社員の増員に対応したオフィス環境を整備。可動式の机を追加し、レイアウトの自由度は高い空間をキープしました。

イーブロックが特に重宝されるのは、会議をするとき。大きなモニターの前に集まって会議が行われることも多く、その場所に一時的に人が増えます。パソコンに接続する電源が足りなくなることもあり、イーブロックを持ってきて電源を補完します。また可動式の机をつなげるときも、イーブロックが活躍。電源の位置を気にすることなく机を配置できます。

イーブロックを使用される中で充電をスムーズにしたいと、イーブロックデスクを追加でご発注。4台ご採用いただき、フロアの出入り口のロッカーの上に設置して、充電専用のエリアを確保されました。帰宅前ロッカーに荷物を入れるときに使用したイーブロックを持ってきて、デスクにセットすることで次の日はきちんと充電された状態に。フロアの皆様が「使ったら充電」を自然に実践できるレイアウトで、イーブロックの使い勝手が一層よくなりました。

出入り口横のロッカーにイーブロックデスクを設置。



「人に合わせて電源を動かせる」 これからのオフィスにぴったりのアイテム。

部署の人員が増減するときは、人数分の仕事場所を確保する必要がありますが、そのたびに電源工事をするのは非効率。インターネット環境は無線になっても、電源が有線だとフロアの自由度は低くなります。イーブロックがあることで、「人に合わせて電源が動かせる」という発想ができ、「Resona Garage」の空間コンセプトの維持に貢献しました。イーブロックは、フリーアドレスなどフレキシブルなオフィス空間が求められるこれからの時代にぴったりのアイテムとお考えで、今後オフィスをリニューアルする場合の電源問題においても、イーブロックをかしこく活用していきたいとおっしゃいます。

納入商品

- e-block本体 7台
- e-blockスタンド 7台
- e-blockデスク 4台